

コロナ禍の影響と改正事項を総点検 2020年6月第1四半期 決算の直前対策

- I 本決算後の経営環境の変化をどう織り込むか
コロナ禍の影響を踏まえた会計処理ポイント
 - II 先行する開示例も参考に
コロナ禍の影響を踏まえた開示ポイント
 - III 期首からの早期適用での留意点は？
時価算定基準の会計・開示ポイント
 - IV 予定されている四半期財規等の改正にも留意
収益認識基準の表示・開示ポイント
 - V 改正前税法に基づく旨は追加情報に注記
グループ通算制度移行に係る税効果会計のポイント
 - VI 記載区分の変更など
四半期レビュー基準の改訂ポイント
- 恒例企画 2020年6月第1四半期決算関連資料一覧

新型コロナウイルス感染拡大の影響を決算にどう落とし込むかは、先の3月決算のみならず、今6月第1四半期決算においても、非常に大きな関心事と思われる。また、今期から時価算定会計基準や、開示規定も含めた改正収益認識会計基準の早期適用が可能となる。本特集では、これらのトピックに関する第1四半期決算における実務ポイントを解説してもらった。巻末の決算関連資料一覧とあわせてご確認ください。